

西原村議会だより【ゆうすい】

第119号 令和2年11月5日発行

# Yūsui

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

No.119  
2020.11.5

## CONTENTS

- ◆ 8月定例会
- ◆ 《決算報告・質疑応答》／P2～3
- ◆ 令和元年度  
西原村一般会計等決算を認定  
・ 質疑応答
- ◆ 《決算報告・補正予算》／P4～5
- ◆ 一般会計熊本地震関連決算
- ◆ 年度別地震関連歳出決算
- ◆ 一般会計補正予算
- ◆ 一般質問／P6～7
- ◆ 有害鳥獣駆除対策について
- ◆ アナグマ等の異常増殖による農作物被害  
の増大に早めに警鐘を鳴らす
- ◆ 総合運動公園の完成は、地震からの復興の証
- ◆ 人口増に向けた移住定住環境づくりは…
- ◆ よつていきなっせ／P8
- ◆ 新興住宅地高遊地区のルーツは開拓
- ◆ 新しい村議会構成決まる／P9
- ◆ 議長あいさつ
- ◆ 各議会委員会役員名簿
- ◆ 委員会構成と各議員の抱負／P10～11
- ◆ 総務福祉常任委員会(5名)
- ◆ 産業教育常任委員会(4名)
- ◆ 職場からこんにちは・編集後記／P12

西原の明日を担う!!

山西ソーラン2020  
元気っ子達!!



# Nishihara

## VILLAGE

8月  
定例会

### 令和元年度 西原村一般会計等決算を認定

令和元年度一般会計決算を中心に、国民健康保険特別会計他4件の特別会計決算の認定を行いました。

代表監査委員の河上勝彦氏から決算について審査報告があり、直ちに決算報告における議会からの質疑を受け、主なものを本紙に掲載しました。

また、甚大な被害をもたらした熊本地震から4年が経ち、今回は過去4年間の西原村における一般会計中の地震関連の収支動向も掲載しました。

### 令和元年度 会計決算

項目	歳入	歳出	翌年度繰越額
一般会計	108億997万円	101億158万円	7億839万円
国民健康保険特別会計	9億9,901万円	9億1,138万円	8,763万円
介護保険特別会計	8億253万円	7億1,482万円	8,771万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,144万円	1億5,755万円	389万円
中央簡易水道事業特別会計	1億1,160万円	8,829万円	2,331万円
工業用水道事業会計	1,979万円	994万円	985万円

8月定例会が18日～24日の7日間開催。  
令和元年度一般会計・各特別会計の決算認定と健全化判断比率及び資金不足比率の報告等、認定6件・報告1件・承認2件・令和2年度一般会計補正予算他議案11件・同意3件を審議し、すべて原案通り可決した。一般質問は2人が登壇し村政全般を質した。

# 質疑応答

## 一般会計

【問】多子世帯子育て支援事業補助金について該当世帯数は、**【住民福祉課長】**事業費の2分の1が県補助、保育園児3人目第3子以降が該当するが所得により該当しない場合もある。現在の該当者は47名である。



【問】工事請負でカーブミラーを設置しているが、村道沿いのカーブミラーの管理主体は、**【総務課長】**村が設置したカーブミラー等は村が管理。

定期的に見回りは行っているが、不具合や見落としもある。区長を通して連絡があれば対応する。



【問】手話奉仕員養成研修事業とあるが、本村から何名受講されているのか。

【住民福祉課長】この事業は、阿蘇圏域負担金として支出している。昨年は阿蘇市で研修されたが西原村の受講者はいなかった。本年度は西原村で研修予定であったが、コロナの影響で中止となった。



【問】にしはら保育園への不審者侵入や非常事態時の役場・駐在所との連携はどのようになっているのか。

【にしはら保育園長】毎月月末に火災避難訓練や地震避難訓練等を行っている。先月は不審者侵入の非常事態の避難訓練を行った。



不審者侵入による非常事態があった場合、第一に全園児の

安全確保。併せて緊急通報ボタン等により警察・総務課へ連絡を行う。

【問】公共施設整備基金積立金の残高は、

【村長】公共施設整備基金は現在8億4千万円で、全ての基金残高は39億円。内財政調整基金が19億円。この基金については、多使用可能な基金であり、公共施設整備基金は、公共施設の整備を目的とした給食室や将来的に社協の拡張に使わせて頂きたいと考えている。

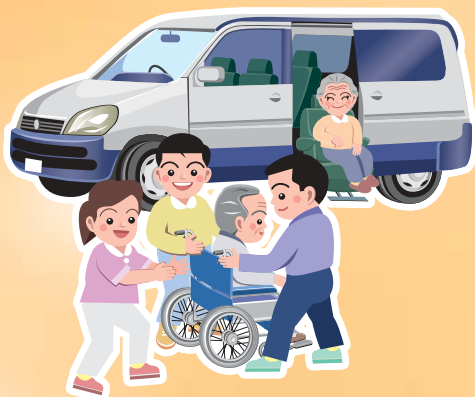
## 国民健康保険 特別会計

【問】一般被保険者第三者納付金は交通事故によるものか、また件数は、

【保健衛生課長】交通事故によるもので、件数は1件。

【問】特定健診データ分析及び受診勧奨業務委託の内容と成果は、

【保健衛生課長】西原村における特定健診受診対象者の過去3年間の受診状況や通院歴を分析し、受診勧奨に努めた。

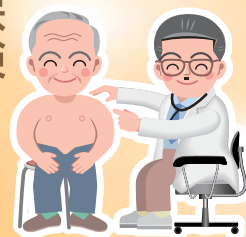


成果として、対象者の受診動向や年代別受診状況が確認できた。又、視覚的に解りやすいお知らせとしたことで、受診率が対前年比1.3ポイント上昇した。

## 介護保険 特別会計

【問】保険給付費の不用額の見解は、

【保健衛生課長】介護予防拠点活動を充実することにより、介護サービス費の抑制につながったもの。今後も予防事業に力を入れていきたい。



# 平成28年度～令和元年度 一般会計熊本地震関連決算

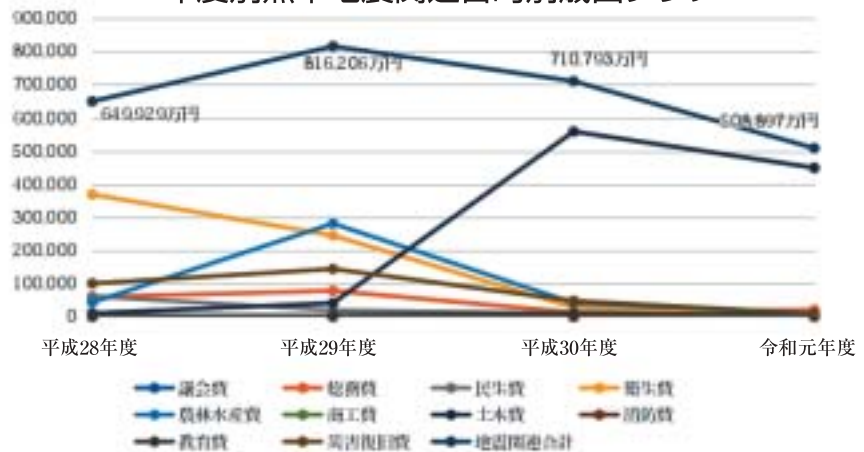
8月  
定例会

甚大な被害をもたらした熊本地震から4年が経ちました。過去4年間の西原村における地震関連目的別歳出決算の動向を踏まえながら皆様に報告をします。

## 年度別地震関連歳出決算

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
議会費	76万円	0万円	0万円	0万円
総務費	5億9,759万円	7億8,416万円	1億2,943万円	2億649万円
民生費	6億1,577万円	1億9,644万円	1億331万円	6,997万円
衛生費	36億9,082万円	24億5,131万円	2億8,184万円	5,627万円
農林水産業費	4億3,435万円	28億1,220万円	4億1,778万円	9,180万円
商工費	101万円	0万円	60万円	1,297万円
土木費	1億499万円	4億1,374万円	55億8,927万円	44億9,535万円
消防費	1,143万円	904万円	1万円	556万円
教育費	3,814万円	5,262万円	1億466万円	5,396万円
災害復旧費	10億443万円	14億4,255万円	4億8,103万円	9,660万円
地震関連合計	64億9,929万円	81億6,206万円	71億793万円	50億8,897万円

年度別熊本地震関連目的別歳出グラフ



河上 勝彦 代表監査員

### 《決算監査》

西原村の河上勝彦代表監査員及び西口義充監査員により地方自治法の規定に基づいて、審査の期間が令和2年7月9日から31日の内8日間実施された。8月定例会における決算監査報告は、河上勝彦代表監査委員が一般会計から特別会計等まで審査報告がありました。

### 《監査員の審査意見書》

令和元年度、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに実質収支に関する調査及び基金運用状況の審査結果については、各会計決算並びに基金ともに計数に誤りはなく、よく整理され、会計経理は正確であることを認めた。

財政運営については、平成28年に発生した熊本地震により、復旧・復興に繰越し事業を含め50億8,900万円を投じ、復旧・復興事業が実施された。国や県の補助金、交付金を活用し、また、交付税措置のある起債を財源として尽力されたことは大いに評価できる。

この結果、実質収支額として5億3,900万円が確保できたということは、大きな成果であると評価する。近年は、毎年のように各地で大きな災害が発生している。地震や大雨、台風、異常気象によるゲリラ豪雨など私たちを取り巻く環境が大きく変化している。そうした中、熊本地震後各集落の再生へ向けた宅地の再生工事が終盤を迎え、住宅の再生や地域のコミュニティの再構築に対する支援や災害公営住宅への支援等が更に必要とされる。また、地域防災拠点施設『西原村運動公園』として総合体育館の建設がスタートした。災害が発生したとき住民の避難拠点となるため、早期完成を望む。

国が進める国土強靱化政策が進められる中、熊本地震で被災した大切畑ダムの復旧工事が始まった。今回のダム本体の復旧に当たっては、利水と治水を兼ね備えた安全・安心なダムの建設が進められております。また、道路、橋梁、学校等のインフラ整備強化が必要となると思われるので早期に計画を立て取組を進めてもらいたい。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、国において経済対策が施されているところであるが、今後も情報をいち早く収集し、住民や企業等に周知し、住民が安心して生活できるよう政策を進めてもらいたい。

# Nishihara VILLAGE

承認第9号 令和2年度

## 一般会計補正予算 (第5号)

承認第10号 令和2年度

## 一般会計補正予算 (第6号)

【概要】新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親世帯における子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより大きな負担が生じていることを踏まえた給付金事業の実施。  
また、休業や外出自粛により学びや生活等に支障を来している学生への支援金事業の実施。

【問】高校生以上の支援の対象者で就学支援申請者は何名か？

【教育長】7月末現在で実際確定している人数は、支援金1万円が2226名、5万円が56名、合計282名である。



【問】新型コロナウイルス対策で急遽の予算であるが、財源は一般財源なのか。国からの財源はないのか。

【総務課長】緊急を要するということと、予備費を充当し専決処分とした。

財源の一部として、国からの新型コロナウイルスに対する地方創生臨時交付金の一部を充てる。

【問】交付金の充当割合は？

【総務課長】全額の場合と一部充当の場合もある。

### 西原村就学支援金 《給付事業》

県内の学校に在学する学生 ..... 1万円  
県外の学校に在学する学生 ..... 5万円

【概要】令和2年7月3日から14日にかけて発生した豪雨災害により、村道、河川、農地及び農業用施設が被災し、8月下旬から10月上旬にかけての災害査定を受けるための測量設計や崩土撤去の委託、また、のり面増破を防ぐための緊急的な復旧工事の実施。

《歳入》

災害復旧県補助金  
390万円増額

《歳出》

農地等災害復旧費  
857万9,000円の増額

道路橋りょう等災害復旧費  
1,370万円の増額

【問】今回の災害での個人負担割合は？

【復興建設課長】農災については激甚災害の指定通知が来ている。農地が90%、施設が95%位の補助率である。



農地被害／瓜生迫（水路）河原付近



農地被害／小野（河原）

# Questions

上野 正博 議員

## 一般質問

### 有害鳥獣駆除対策について

### アナグマ等の異常増殖による農作物被害の増大に早めに警鐘を鳴らす

村 長／対策を講じ一定の効果を得ている!!

産業課長／猟友会の高齢化、会員減少の懸念は、村外の会員の受け入れにより解消。

アナグマの捕獲補助金は令和3年度から補助金の交付を予定したい。

### 有害鳥獣駆除

#### 対策について

【上野】本村では鹿、イノシシを有害鳥獣駆除動物として猟友会に補助金を支給して捕獲依頼しているがこれまでの駆除対策について。

・捕獲補助金の予算は足りているのか？  
・現況と課題はないのか？

【村長】野生鳥獣による被害は全国的な課題となっている。

本村ではイノシシ、鹿による被害が顕著であり、捕獲補助金の交付や電気柵の設置、箱わなの貸付け等により対策を講じ一定の効果を得ている。

【産業課長】イノシシは年に4～5頭出産する。

特に熊本地震以降、生息範囲や、活動範囲が拡大傾向にある。

捕獲数が昨年度は147頭、本年度も上半期で既に95頭、予算はイノシシ150頭、鹿50頭で計上しており心配なところである。捕獲隊による捕獲だけではなく、自衛と追い払いの総合的な取り組みとその普及を図っていきたい。



箱わなのアナグマ

### アナグマ等による

### 農作物被害への警鐘

【上野】アナグマ等による被害が深刻であり、サツマイモ、落花生、トウモロコシ。桃畑においては枝を折るなどの被害が出ている。

これらの動物も村の駆除対象と出来ないか。

捕獲補助金1頭当たり

・鹿……………11,000円

・イノシシ……………10,000円



アナグマ巣穴の入口

【産業課長】捕獲補助金については令和3年度から国庫補助金の対象になるので補助金の交付を予定したい。



アナグマの巣穴が陥没したニンジン畑



# General

## 一般質問

桂 悦朗 議員

### 総合運動公園の完成は、地震からの復興の証

【桂】熊本地震からの完全復興に向け宅地再生事業をはじめ、水道・道路等ライフラインの復旧・復興に取組んでこられた。今後は新しい西原村「夢ある村」を目指すとしておられるが、どのような村づくりに取組む考えか。

【村長】宅地の再生、集落内の道路等の整備は、利便性等を考え生活しやすい集落づくりを進めてきた。

今後は、現実的な夢のプランを立てることが大事であり、村民の希望・望み・期待をできる限り叶えられるような夢を描くならばと思っている。

【桂】創造的復興の確立そして未来への展望についてどのような取組んでいく考えか。

【村長】総合運動公園の完成は、地震からの復興の証として、子どもから高齢者まで健康づくりの拠点、遊びの場、そして防災の拠点として意味ある村づくりに繋



建設中の総合体育館

がり未来への展望が開けると考えている。

【桂】大切畑ダム周辺の整備は、本村の観光拠点として重要であると思うが、現在どのような進めているか。

【復興建設課長】常に県と連携し利活用について協議している。

今後は、周辺集落・土地改良区・商工会等の声を聞き、県とのワークショップやイメージの作成図の予算取りを行いたい。

### 人口増に向けた移住定住環境づくりは…

【桂】若者世代、子育て世代が安心して移住定住できる様々な環境づくりに取組んでいる自治体もある。

河原校区では少子化が進んでいる状況であり、地域住民の声を聞き、移住定住促進事業として、村が宅地造成に取組む考えはないか。

【村長】人口増・移住定住は、村全体の課題である。

河原校区の活性化については、河原校区の議員・河原校区活性化対策特別委員会の皆さんとこれまで検討してきている。

河原校区の人口増・子育て世代が移住定住できる環境づくりを考え、河原小学校の複式学級の解消につなげるように、より現実的なプランを立て検討していきたい。

【桂】若者世代・子育て世代また高齢者等においても教育環境、医療環境が整い、生活必需品が村内で購入できる等の生活の

利便性の高い商業施設を誘致する事も人口増加に繋がるのではないか。

【村長】大型店舗の誘致は現時点では厳しい、その中で長屋風にそれぞれ商売する方に店舗を構えていただくか、商工会が行っていくのか、今後検討していく課題であると思っている。



高森町の商業施設

### 新しい西原村「夢ある村づくり」の取組みとは…

村長／現実的な夢のプランを立て、

村民の希望・望み・期待をできる限り叶えていきたい。





# 新興住宅地高遊地区の

## ルーツは開拓!!

中西義信

The roots of the Takayû area are pioneering

昭和20年終戦後の混乱期のさなかに大量の復員軍人・海外引揚者(主に満洲)が本土に帰還するために、治安の悪化の懸念と食糧不足の深刻化が最重要課題だった国は、食糧増産と帰還者の就労確保と治安維持のために国策として全国で開拓事業を始めました。

そのような中で、益城・菊陽・大津・西原村にまたがる台地で当初ポツンとお稲荷さんしかなかった高遊原に、国が開拓地として斡旋した計33戸が入植して「高遊原開拓農業組合」を設立し、皆で協力のもと人力で開墾しながら、雑木林を切り開いていきました。私の父も軍人で赤紙で召集され南方で捕虜となり、終戦後帰還しここに参加しました。水も電気も住居もない中、それは壮絶な日々だったそうです。でも助け合いと互いの奉仕の精神は、まさしくそのさなかに生まれたのではないかと私は感じます。

1戸当たり平均2.5haの割り当てでしたが、画期的だったのは全割り当て地が基盤整備のごとく四角形だった事です。それが同じ大地に空港ができ開発が進んだ時に生かさ



高遊原開拓農協30年の歩みに掲載

れて今日にいたった訳です。

平成30年の高遊夏祭りでは「祝開拓入植70周年」の特設コーナーを新住民の方々から開設して頂きました。高遊中・西・東・コモン約400戸になりましたが暖かさは続いているのかと。(高遊中区のホームページに仔細あり)

今年はコロナでできなかった夏祭りも毎年大変賑わいます。西原台・星ヶ丘含めての「厄入りの会」も今年で35年も続いて新しい歴史もできつつあります。



開拓当時を記録した『高遊原開拓農協30年の歩み』

- 熊本県後期高齢者医療広域連合協議会議員(1名)……………堀田直孝
- 国民健康保険運営協議会委員(2名)……………上野正博 中西義信
- 公民館運営審議委員・社会教育委員(1名)……………坂本隆文
- 監査委員(1名)……………西口義充
- 社会福祉協議会理事(1名)……………山下一義
- 社会福祉協議会評議員(2名)……………上野正博 中西義信
- 社会福祉協議会「福祉のまちづくり推進委員長」(1名) 尾崎幸穂
- 農振審議会委員(3名)……………山下一義 中西義信 西口義充



# 新しい村議会

## 構成決まる!!

令和2年第2回臨時議会が9月25日に開催され、新議長に山下一義議員、副議長に上野正博議員が決まり、新しい議会構成も決定、新たな西原村議会がスタートした。

### 議長あいさつ

9月の改選により議会議長に選出されました。

今回の選挙期間中、住民の方々より応援の言葉や厳しい意見もいただきました。その事を念頭に議会をとりまとめ議長職を全うしたいと思えます。

行政の運営や政策を村民の立場に立つて、議員全員で西原村のために働く議会づくりにしたいと考えております。

微力ながら村民の皆さま、日置村長をはじめ執行部と心を一つにして、村の発展と



山下一義 議長  
今後ともご指導ご協力を  
お願い申し上げます。

地震からの完全復興を目指し努力してまいります。

### 議会運営委員会(6名)



委員長	宮田 勝則 議員
副委員長	高本 孝嗣 議員
委員	上野 正博 議員
委員	西口 義充 議員
委員	中西 義信 議員
委員	坂本 隆文 議員

### 議会広報常任委員会(5名) 広報ゆうすい



委員長	坂本 隆文 議員
副委員長	堀田 直孝 議員
委員	小城 保弘 議員
委員	高本 孝嗣 議員
委員	尾崎 幸穂 議員

### 一部事務組合議員及び各種委員

#### 【一部事務組合名】

大津町・西原村原野組合議会議員(3名) ……西口義充 坂本隆文 高本孝嗣  
 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会議員(2名) …宮田勝則 堀田直孝  
 阿蘇広域行政事務組合議会議員(3名) ……上野正博 中西義信 小城保弘

#### 【各種委員名】

河原校区活性化対策特別委員会(5名) ……堀田直孝 小城保弘 宮田勝則 坂本隆文 尾崎幸穂  
 公共育成牧場跡地利用対策特別委員会(5名) ……小城保弘 中西義信 宮田勝則 堀田直孝 高本孝嗣  
 企業誘致特別委員会(5名) ……上野正博 宮田勝則 中西義信 小城保弘 尾崎幸穂  
 西原村復興対策特別委員会(5名) ……宮田勝則 西口義充 上野正博 坂本隆文 高本孝嗣

# 各議員の抱負!!

NISHIHARA VILLAGE

議員構成

## 総務福祉常任委員会 (5名)

《総務課・税務課・住民福祉課・保健衛生課・保育園・会計課》

村の行財政・福祉の分野に関し、事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。



### 中西 義信 委員長 復興からの村づくり

熊本地震から4年半、今後は生活するための取り組みが大事かと、子育て支援・待機児童問題・体力の向上や放課後対策、高齢者の方々に元気に暮らして頂く手伝い等を行います。コロナ問題の終息と完全復興を目指し思いやりとふれあいで、住みよい村づくりに尽くします。



### 堀田 直孝 副委員長 皆様の代弁者として

私は、今まで村民の目線で、目となり、耳となり、口となり、重要課題を取りまとめ、村の政策に反映させるため、皆様から寄せられた御意見や御要望を定例議会におきまして、数多くの一般質問を行ってきました。今期も引き続き皆様の代弁者として活動させていただきます。



### 坂本 隆文 議員 より良い村づくりを目指して

本村の復興も終盤に差掛かり、次のステップへと進む時期になりました。新たに議員も、農業・商業・工業・女性議員・公務員からの議員の構成になり、議員活動も多方面からの意見で、より活発になると思います。年齢は下から2番目ですが3期目、住民の方々の意見を聞きながら、よりよい村づくりが出来るよう至誠一貫の精神でまい進して参ります!



### 高本 孝嗣 議員 皆さんの声を傾聴します

西原村に住んでみたい、住んでよかったと言える住みよい村づくりを目指して行きます。総務福祉委員会になりましたので、まずは子育て支援・学童保育・高齢者に優しい村づくり、身近な生活環境問題等に力を注いで行きます。皆さんの声を傾聴し、村政に活かしていけるよう頑張ってみます。



### 尾崎 幸穂 議員 女性の目線から

熊本地震の経験から「人の役に立ちたい!」と強く思うようになりました。今回数多くの有権者様から頂いた一票を無駄にしない様、女性目線からの考え、若者からの声を巻き上げて今まで以上に子育てしやすく、みんなが住みやすい西原村を目指して精進していきたいと思っております。

## 産業教育常任委員会(4名)

《企画商工課・産業課・復興建設課・教育委員会》

建設・経済・地籍・企画・商工と教育に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査など。

西口 義充 委員長  
皆様の『声・足となり』

この度、村議3期目のご支援を受け、新たためて責務に身の引き締まる思いです。2期8年取り組んできた以上の業績を残し、今後も村民の皆様方の「声・足となり」要望を真摯に受け止め「初志貫徹」の決意をもって取り組んで行く所存であります。今後ともご支援ご鞭撻の程宜しく申し上げます。

上野 正博 副委員長  
さらなる本村の発展を目指して

災害からの完全復興は年度末で終わり、体育館工事も順調に進み本村の明るい兆しが見られます。しかし、難点もあり、少子化による人口減少、これは村だけでなく国の政策であり安全保障を考えると自衛官の定員割れが心配でならない、出生率の向上に取り組み、さらなる本村の発展に頑張ります。

宮田 勝則 議員  
活力と福祉の村づくり

震災からの復興建設事業も目途がたってきました。今後は、経済復興と本村の抱える様々な重要課題の解決そして公約実現に向け、村民と意見を交わし共に創造する提案をし、確実に前に進むよう努めてまいります。

小城 保弘 議員  
村民の為になる村づくりを目指して

私の考える道として安全安心で暮らせる西原村の創造。夢と希望が持てる活力ある農業基盤造り。  
高齢者が安心して暮らせる社会福祉の充実。村民の為になる村づくりを目指してわたしは全力を尽くします。



# がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHIIWA こんにちは

このコーナーでは、西原村活性化のため、村内で頑張っている方を今後も紹介して参ります。



**ネギ・玉ねぎ・小ネギ・ブロッコリー・大根 栽培**  
中村 直樹さん

就農時の経営規模／にんにく20万、ネギ30万  
現在の経営規模／ネギ20万、玉ねぎ20万、小ネギ、ブロッコリー、大根10万

農業を本格的に始める前は、射出成形機等(溶かした樹脂を金型に流し入れ、冷やし固めることで自動車の部品や家電製品、身の回りの様々なプラスチック製品を作る機械)のメンテナンスの仕事をやっていました。

元々、私の実家は米の兼業農家で、私自身も兼業として農業に携わっておりましたが、母の病気をきっかけに、家族の近くにいることができ、大切な農地を守っていける専業農家になることを決意しました。

私は、自分の好物だからという理由からですが、露地野菜で長ネギ、玉ねぎ、小ネギなどのネギ類を中心に栽培しています。また、ネギ類は長い期間をかけて栽培するので、合間にブロッコリーや大根なども栽培しています。

これまで手伝いとして農業に関わってきましたが、まだまだ勝手が分からず上手くいかないことも多々あります。前職では、不具合等が起きた場合は、「この部品が悪い、ここが壊れている」等すぐに原因を突き止め、問題を解決できていたのですが、農業ではそうはいきません。結局何でもやってみないと分からないので、試行錯誤の日々です。ひとつずつやってみて、もしダメだったら、次から直していく。その繰り返しになりますが、収量及び経営向上を目指し、これからも勉強と研究をしていきたいと思います。



**ほおずき・里芋・にんにく・甘藷 栽培**  
小出 真也さん

就農時の経営規模／ほおずき3万、里芋10万、にんにく7万  
現在の経営規模／ほおずき6万、里芋30万、にんにく7万、甘藷15万

現在就農して2年目を迎えます。静岡県出身の私が西原村に移住するきっかけになったのは4年半前の熊本地震でした。災害ボランティアとして熊本を訪れて活動する中、西原村で被災した農家を支援する農業ボランティアを知り参加しました。

ボランティアで伺った農家さんでは農業経験が全く無かった私に丁寧に作業方法を教えてくださり、農業のやりがいや楽しさを知る事となりました。また、日本全国から訪れるボランティアの方々と一緒に作業する中で食の安全性や食品の自給率など農業の尊さを知り、感化され西原村で農業をする決意をしました。

まだ2年目と言うこともあり手探りで作業をしている状況ですが1年目で得た経験を元に反省・改善を行い効率の良い作業方法や新しい作物などを模索しています。

幸いなことに周りの農家さんがとても親切で気にかけてくださるので何でも教えていただいたり、相談に乗ってもらえるので助かっています。

まだまだ分からない事ばかりで不安の多い日々ですが、なるべく早く安定した農業経営が出来るように頑張っていきたいです。



- 発行責任者  
議長 山下一義
- 委員 坂本隆文  
副委員長 堀田直孝  
委員 小城保弘  
委員 高本孝嗣  
委員 尾崎幸穂

- 広報委員  
文責／尾崎幸穂
- 突然私たちに降りかかってくる様々な災害に対し、予防、対処が出来る様に個人、近隣住民、地域で取り組み「災害に強い西原村」を目指しましょう。

## 編集後記

まずは「コロナ禍」の中で発生した「熊本豪雨災害」において、多くの尊い命が失われた事に深い哀悼の意を捧げますと共に被災された皆様方へ心よりお見舞い申し上げます。私達西原村住民も多くの方が4年前の熊本地震で被災し、そこから数多くの事を学びました。そんな中、議会改選に伴い誕生した3人の新人議員を含めた全議員が参加した「熊本県町村議会議員研修会」のテーマが「これからの防災のあり方」。災害後【対処】訓練(避難・消火・救助)はもとより、災害【予防】訓練、在宅避難訓練の必要性を強く感じました。